



オンラインでの講演

その後、「被災地の現状から学ぶ」市民の絆を伝えたい、広げたい、続けたい」をテーマにフォーラムを開催し、子どもから大人まで、震災は身近な出来事で普段の準備の大切さが伝えられました。その後、毎年「被災地から学ぶフォーラム」と題して各地区を巡回して開催しています。大規模災害を経験した方々（仙台市・

自然災害は 他人事ではない

～過去の被災地からの教訓を
活かしていく松江市に～

今年は東日本大震災から10年、当初、島根県からの要請を受け、松江・島根支援協議会が行政、市民、NPO、企業などが関わり、松江市ボランティアセンターに事務局が置かれ支援活動が始まりました。被災地へ支援物資の送付や被災地の親戚、友人知人等への訪問や視察など、市民からの情報も共有し報告会もありました。



パネルディスカッション

熊本市）からは、「突然の災害にどう立ち向かうか」、「大切な命をどう守るか」など生々しい体験談が語られました。また、救助の立場から消防・警備関係者、自然分野からは地質学者の「地形や地質の特質もある」などの意見が出ました。日頃から地域住民・家族との絆およびコミュニケーションの大切さを強く感じました。

さらに、この10年間に、地震災害、土砂災害、堤防決壊など、倉敷市真備町、呉市、江津市近辺の江の川氾濫など一層身近に感じています。

これから私たちは、いつ起こるか分からない災害に自分の命は自分で守る（自助）と同時に日頃の隣近所、地域の繋が（共助・公助）を深め、それぞれの地域、職域、学校などでの必要物品の確保だけにとどまらず、訓練の大切さと連携が必要です。

これまでに大災害の経験がない松江市だけに、一層準備が必要で、なかでも企業のチカラは今後大切ではないかと思えます。また、市民団体が一緒になって学び合い、行動体制ができるように願っています。

カナツ技建工業(株)

毎年グループ会社全体で行っている「カナツクリーン運動」。例年は、約200名のグループ会社役職員が松江市内4か所に分かれて、一斉に行っている清掃活動ですが、コロナ禍の中、参加人数を絞り、古浦海水浴場の1か所のみで行いました。



(株)島根銀行

新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けた山陰両県のお取引先を応援するため、「しまぎん地域応援プロジェクト」と銘打ち様々な取組みを行っております。その一環として、お取引先企業の皆さまの売上支援のため、当行本店ロビーにて「出張販売会」の場を無料で提供させていただいております。これまでご利用いただいたお取引先企業の皆さまからは大変ご好評をいただいております。



加盟企業のボランティア活動紹介

島根県農業協同組合くにびき地区本部

くにびき地区本部は、社会貢献活動の一環として「秋の全国交通安全運動」に呼応し、カーブミラーの寄贈や清掃活動を行い、交通安全意識の啓発に取り組みました。



9月24日には、管内一斉に支店職員が各店舗周辺のカーブミラーの清掃や反射タスキを配布し、交通事故防止への意識向上を促しました。

古江支店では、共済普及係の職員が管内を巡回し、交通安全を願いながらカーブミラーの鏡面を丁寧に磨きました。

和光産業(株)

弊社では、業務・通勤路として羽入農道を利用しています。地域の皆様の生活道路でもある農道を年1回の除草作業ですが、(株)シンワ、(福)若幸会、アグリわこう(株)（わこうグループ）と共に行っています。



作業中は、普段接点のない従業員とのコミュニケーションの場になります。しかし、今年はコロナ禍。黙々と作業を行いました。

早期にコロナ禍も収まり、いろいろな情報交換の場にもなる除草作業になってくれるといいな、と願っています。



お弁当で中学生にエールを送ろう！

～第2弾あまころエール弁当～

松江市社会福祉協議会では令和2年8月に松江市の中心部に位置する、朝日・白湯・雑賀地区の中学生を対象に夏休みの期間を利用してお弁当の販売を行いました。この事業に取り組むきっかけとなったのは、中学校の先生のお話からでした。給食が休みになる夏休みなどの長期休暇は栄養バランスのよい食事をとることができない生徒がおり、「食」の支援が求められていることがわかりました。また、コロナ禍で様々な制限を強いられた中学生にお弁当を通じて元気になってもらうことも事業を企画した目的の一つです。

事業に賛同いただいた地元企業の皆様がスポンサーとなり、500円相当のお弁当を100円で提供することができました。6日間で延べ34人の中学生とそのご家族がご利用され、好評をいただきました。

そして今回、令和3年3月から4月の春休み期間に第2弾「あまころエール弁当」を実施しました。今回は4日間の日程で前回を上回る35人の方にお越しいただきました。前回お越しいただいた方も多くご利用され、「とても喜んでたべました。思いやりが伝わり心が温まります。素晴らしい企画ありがとうございます。(原文まま)」といったお声をいただきました。当初の目的であった「食」の支援とお弁当を通じて中学生へエールを送ることができたと感じる一方で、いまだコロナの終息が見えない状況から引き続き事業を継続するとともに、この取り組みを他地域へと広げていきたいと考えております。

会場(中電ふれあいホール)



活動の様子



あまころエール弁当の仕組み



お弁当の一例



◆ お礼 ◆

前回に引き続き、企業ボランティア松江ネットワーク会議に加盟していただいている企業様より協賛金のご協力をいただきました。心より感謝を申し上げます。(松江市社会福祉協議会)

事務局からのお知らせ

第15回 松江市ボランティアフェスティバル 開催延期について

本年度は令和3年7月の開催に向けて準備を進めておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、来場者および関係者の皆さまの健康・安全面を第一に検討した結果、令和3年7月に予定をしておりました第15回松江市ボランティアフェスティバルは開催を延期することといたしました。

ご協力を予定いただいた皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、何卒、ご理解とご了承賜りますようお願いいたします。

代表等の変更について ご連絡をお願いします

令和3年度総会開催に向け、代表者名・窓口担当者名・役職等の変更がございましたら、事務局までお知らせください。

令和2年度 会費納入のお忘れはありませんか

令和2年度会費納入のお忘れはありませんか？

事務局より、令和2年度会費納入についてご案内をさせていただく場合があります。ご案内の際、入れ違いに納入いただいた場合は、あしからずご容赦ください。

なお、令和3年度会費納入の願いは、総会後にご案内をさせていただきます。

令和3年度 総会の開催について

例年9月に開催しております総会につきましては、今年度と同様に、現在流行しております新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら実施の判断をしたいと考えております。

また、ご案内の時期になりましたら書面にてご連絡いたしますのでご承知おき下さい。

～ 収集にご協力をお願いします ～

松江市ボランティアセンターでは、「使用済み切手」「アルミ缶のプルタブ」「書き損じはがき」を募っています。

使用済みの物でも、処分してしまえばゴミですが、「収集ボランティア」としてお寄せいただくことで、地域福祉活動に役立てさせていただきます。

お寄せいただいた収集物は、整理ボランティアさんによって綺麗に分別され、リサイクル業者や収集家の方々により換金の後、松江市の地域福祉活動に、大切に活用させていただきます。小さなご協力が大きな力になります！

是非、皆さまのお気持ちをお待ちしております！

手順等お問い合わせいただく際は、事務局までお願いします。